

IIIFに準拠した画像公開の方法とTEIとの連携

2020年12月1日 (火)

13:00~16:15

Zoomによるオンライン開催 (東京大学)

写本・刊本の公開にIIIFを使えば良いと言われるけど、その実装はどうやって行うのだろうか？
そもそも、IIIFを使うと、何ができるようになるのだろうか？

本セミナーでは、そのような疑問に応えるべく、IIIFの実装支援ならびに利活用の事例を紹介します。



1. 開催趣旨

永井正勝 (東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門)

2. CantaloupeとDrupalを用いたIIIF対応デジタルアーカイブ管理システムの構築

和氣愛仁 (筑波大学人文社会系)

3. IIIFとTEIの連携を目指して：XPointerは甦るか？

高橋洋成 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)

4. 源氏物語本文研究支援システム「デジタル源氏物語」の開発におけるIIIFとTEIの活用

中村覚 (東京大学史料編纂所)

5. SAT大蔵経データベースにおけるIIIFとTEIの活用

永崎研宣 (人文情報学研究所)

6. 質疑応答

申込はWEBから

お問い合わせ先
uparl@lib.u-tokyo.ac.jp

<http://u-parl.lib.u-tokyo.ac.jp/archives/japanese/seminar20201201>



参加無料・先着300名

共催

- 東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門 (U-PARL), 協働型アジア研究「オリエント世界を対象とした研究資源のデジタル化とその利活用に関する研究」(代表: 永井正勝)
- 東京大学アジア研究図書館



IIIF : International Image Interoperability Framework

画像アクセスの標準化と相互運用性を確保するための国際的な取り組み



TEI : Text Encoding Initiative

多様なテキストを適切にデジタル化するための標準策定を目的とした国際的な取り組み